

# 大学院進学説明会 配付資料

入試情報	p. 1
社会人入学	p. 3
カリキュラム情報	p. 4
研究支援	p. 8
奨学金情報	p. 11
キャリア・就職支援	p. 12
進路情報	p. 14
学位論文題目	p. 17

# 入試情報

---

## 1. 志願者数および入学者数

### 修士課程

年度	募集人員	志願者数			入学者数		
		北大	他大学	小計	北大	他大学	小計
2016(H28)	90	47	121	168	30	56	86
2017(H29)	90	43	106	149	31	51	82
2018(H30)	90	44	134	178	29	69	98
2019(H31)	90	44	143	187	35	71	106
2020(R 2)	90	39	152	191	25	68	93

### 博士後期課程

年度	募集人員	志願者数			入学者数		
		北大	他大学	小計	北大	他大学	小計
2016(H28)	35	30	10	40	26	8	34
2017(H29)	35	22	14	36	16	10	26
2018(H30)	35	33	16	49	31	9	40
2019(H31)	35	19	18	37	18	12	30
2020(R 2)	35	34	21	55	30	15	45

受験者および合格者については、文学院のウェブサイトをご参照ください。

[文学院トップページ](#) > [入試情報](#) > [大学院文学院入試情報](#) > [入試・説明会日程、出願状況等](#)  
> [出願状況](#)

## 2. 大学院入試情報

### (1) 入学料・授業料 および 入学料免除(徴収猶予)・授業料免除制度

入学料 282,000 円

授業料 年間 535,800 円(半期 267,900 円)

※ 上記は予定額であり、今後改定される場合があります。

※ 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

納入が困難な学生に対して、免除および徴収猶予の制度があります。詳しくは下記のウェブサイトをご参照ください。

[北海道大学トップページ](#) > [学生生活](#) > [各種手続き・証明書](#) > [入学料・授業料](#)

(2) 学生数

[北海道大学トップページ](#) » [大学案内](#) » [大学の紹介](#) » [北海道大学の概要](#) » [学生数](#)

(3) 卒業・修了者数(学位授与数)

[北海道大学トップページ](#) » [大学案内](#) » [大学の紹介](#) » [北海道大学の概要](#)  
» [卒業・修了者数\(学位授与数\)](#)

(4) 大学院入試情報

[文学院トップページ](#) » [入試情報](#) » [大学院文学院入試情報](#)

(5) 過去の入試問題 (過去5年分を公開)

共通外国語、専門試験、口述試験その他のうち、文学院ウェブサイトでは著作権法上問題がないものを公開しています。出題されたすべての問題は、文学事務部教務担当窓口で閲覧できます。

[文学院トップページ](#) » [入試情報](#) » [大学院文学院入試情報](#) » [入試過去問題](#)

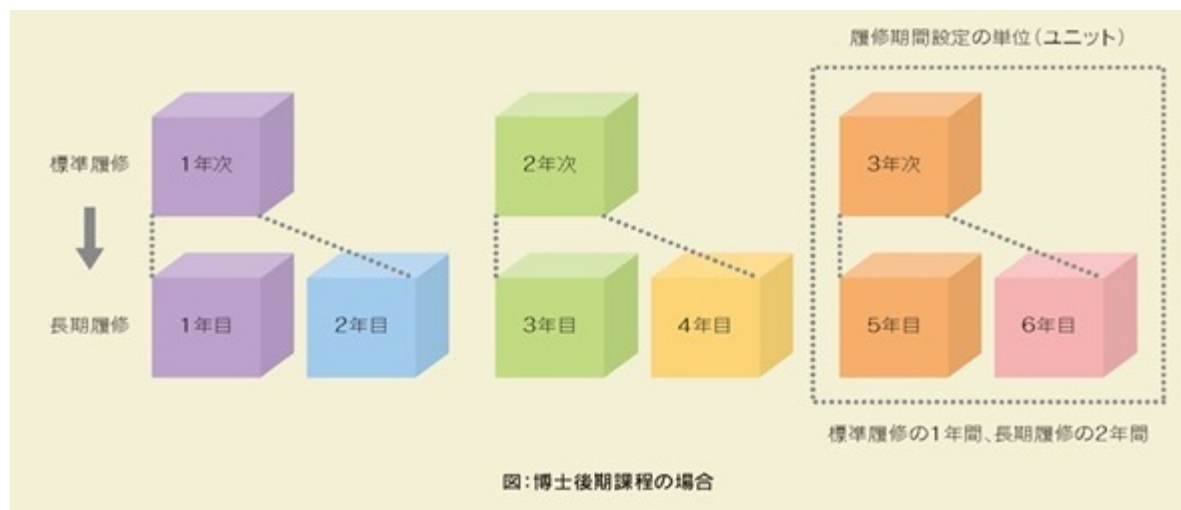
## 社会人入学

文学院では、“社会に開かれた大学院”を目指して修士課程および博士後期課程の入試に「社会人特別入試」を実施しています。以前は、学術研究の高度化をはかり、優秀な研究者を養成するとともに、高度な専門知識をもつ職業人の育成に努めることが大学院の主要な任務とされてきましたが、近年では同時に、社会人のためのリフレッシュ教育を行い、社会人のキャリア・アップの場となることも大学院の重要な役割となっています。

社会人の大学院への受け入れを円滑におこない、定められた修学年限内での学位取得を可能にするために、文学院では次のような措置もとられています。第一に、「大学院設置基準第14条による特例」にもとづき、在職の社会人は指導教員との相談のうえで講義の時間を柔軟に設定することが可能になりました。第二に、長期履修制度があります。時間的制約の多い社会人の修学に配慮したもので、例えば修士課程では2年間の履修を標準としていますが、それを最長4年間に延ばして修学することもできるようになりました。

### ●長期履修制度の解説

文学院では、長期履修制度を実施している。博士前期課程(修士課程)では2年の標準的修学期間を最長4年間に、博士後期課程では同じく3年を6年間に延長することができる。この制度は、主として時間的制約の多い社会人の修学に配慮したものであり、標準の修業年限より長い期間をかけて計画的に履修を行うためのものである。また、種々の負担によって修学に重大な影響が考えられる一般の学生にも適用されることになっている。入学時に長期履修が認められた者の授業料は、概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額(修士課程は年額×2年、博士後期課程は年額×3年)を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定する。



### 長期履修制度

[文学院トップページ](#) » [文学院](#) » [長期履修制度](#)

# カリキュラム情報

北海道大学では、学部と大学院で開講されるすべての授業のシラバスを、下記のウェブサイトで検索することができます。

北海道大学トップページ » 学生生活 » 教務情報 » シラバス検索

## 各専攻の授業科目および単位数

文学院で開講される授業科目、および、修了に必要な単位数は下の表のとおりです。

### 1. 修士課程

#### 人文学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	修士論文・特定課題指導特殊演習	2	
	人文社会構造論	1	
	複合環境文化論	1	
	多文化共生論	1	
	総合社会情報論	1	
	研究倫理・論文指導特殊講義	1	
選択必修科目	哲学特殊講義	2	特殊講義2単位以上及び演習又は実習10単位以上を含み、合計23単位以上を修得すること。
	倫理学特殊講義	2	
	論理学特別演習	2	
	古代中世哲学特別演習	2	
	近現代哲学特別演習	2	
	倫理学特別演習	2	
	インド哲学仏教学特殊講義	2	
	宗教学特殊講義	2	
	インド哲学仏教学特別演習	2	
	宗教学特別演習	2	
	日本史学特殊講義	2	
	日本古代史特別演習	2	
	日本中世近世史特別演習	2	
	日本近現代史特別演習	2	
	東洋史学特殊講義	2	
	東洋史学特別演習	2	
	西洋史学特殊講義	2	
	西洋史学特別演習	2	
	考古学特殊講義	2	
	考古学特別演習	2	
	北方考古学特別演習	2	
	考古科学特別演習	2	
	環境考古学特別演習	2	
	考古学特別実習	2	
文化人類学特殊講義	2		
文化人類学特別演習	2		
芸術学特殊講義	2		

■ カリキュラム情報

芸術学特別演習	2
博物館・文化財研究特殊講義	2
博物館・文化財研究特別演習	2
英米文学特殊講義	2
西洋文学特殊講義	2
英米文学特別演習Ⅰ	2
英米文学特別演習Ⅱ	2
英米文学特別演習Ⅲ	2
西洋文学特別演習	2
言語文化論特別演習	2
日本古典文化論特殊講義	2
日本古典文化論特別演習	2
文献学（国語・国文）特別演習	2
中国文化論特殊講義	2
中国思想特殊講義	2
中国語学特殊講義	2
中国文学特殊講義	2
中国思想特別演習	2
中国語学特別演習	2
中国文学特別演習	2
映像表象文化論特殊講義	2
現代表象文化論特殊講義	2
日本現代文化論特殊講義	2
映像表象文化論特別演習	2
現代表象文化論特別演習	2
日本現代文化論特別演習	2
言語学特殊講義	2
英語学特殊講義	2
西洋言語学特殊講義	2
日本語学特殊講義	2
言語学特別演習	2
英語学特別演習	2
西洋言語学特別演習	2
日本語学特別演習	2
言語分析論特別演習	2
スラブ・ユーラシア研究特殊講義	2
スラブ・ユーラシア総合研究特殊講義	2
スラブ・ユーラシア総合研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア文化研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア社会研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア相関研究特別演習	2
アイヌ・先住民学特殊講義	2
アイヌ・先住民学総合特殊講義	2
アイヌ・先住民学特別演習	2
アイヌ・先住民学海外特別演習	2

備考 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。

人間科学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	修士論文・特定課題指導特殊演習	2	
	人文社会構造論	1	
	複合環境文化論	1	
	多文化共生論	1	
	総合社会情報論	1	
	研究倫理・論文指導特殊講義	1	
選択必修科目	心理学特殊講義	2	特殊講義2単位以上及び演習10単位以上を含み、合計23単位以上を修得すること。
	認知理論特別演習	2	
	行動理論特別演習	2	
	知覚情報論特別演習	2	
	表象構造論特別演習	2	
	知識構造論特別演習	2	
	思考過程論特別演習	2	
	学習過程論特別演習	2	
	行動科学特殊講義	2	
	行動科学特別演習	2	
	行動実験調査法特別演習	2	
	計量行動学特別演習	2	
	数理行動学特別演習	2	
	社会心理学特別演習	2	
	集団力学特別演習	2	
	社会学特殊講義	2	
	社会調査法特別演習	2	
	社会学理論特別演習	2	
	社会集団論特別演習	2	
	社会構造論特別演習	2	
	社会変動論特別演習	2	
	地域科学特殊講義	2	
	地域分析法特別演習	2	
	地域社会学特別演習	2	
	開発社会学特別演習	2	
	地域環境学特別演習	2	
	社会生態学特別演習	2	
	人文地理学特別演習	2	
	経済地理学特別演習	2	
	地誌学特別演習	2	
地理学特別演習	2		
地域調査特別演習	2		
地域科学特別演習	2		

備考 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。

■ カリキュラム情報

2. 博士後期課程

人文学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	博士論文指導特殊演習Ⅰ	2	
	博士論文指導特殊演習Ⅱ	2	

人間科学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	博士論文指導特殊演習Ⅰ	2	
	博士論文指導特殊演習Ⅱ	2	



# 研究支援

## 1. 院生旅費支援（共生の人文学プロジェクト）

大学院生の国際学会・全国学会での研究発表に対する旅費を支援するものです（主として航空運賃の支援、宿泊費は含まない）。「調査出張」に対しても支援をおこなっています。

応募件数および採択件数

年度	予算枠	応募件数	採択件数*		
			国際学会	全国学会	調査等
2015(H27)	600万円	56	19	17	14
2016(H28)	350万円	62	19	21	7
2017(H29)	350万円	50	11	21	12
2018(H30)	350万円	57	14	21	6
2019(R 1)	350万円	51	14	9	8

\* 採択後辞退した件数は含まない

[文学院トップページ](#) > [文学院](#) > [共生の人文学プロジェクト](#) > [旅費支援](#)

## 2. 院生校閲費支援（共生の人文学プロジェクト）

国際学会・国際研究集会での発表、および、国際学術雑誌・本研究科の英文ジャーナル等への投稿を積極的に支援するために、文学院所属の大学院生に対して発表原稿や投稿原稿の校閲料を支給するものです。応募回数に制限はありません。

採択件数

年度	採択件数
2015(H27)	6
2016(H28)	3
2017(H29)	6
2018(H30)	12
2019(R 1)	23

[文学院トップページ](#) > [文学院](#) > [共生の人文学プロジェクト](#) > [校閲費支援](#)

## 3. 文学院・文学研究院発行の雑誌（「研究論集」・「英文ジャーナル」）への投稿を支援

研究発表の機会を積み重ねることは、研究を進める上で大変重要です。文学院が発行する雑誌『北海道大学大学院文学院 研究論集』および *Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences*（英文ジャーナル）では、大学院生の論文発表の場を設けています。

## ■ 研究支援

### 各雑誌における応募状況

年度	研究論集 (12月発行)	英文ジャーナル (3月発行)	
	件数	応募件数	採択件数
2014(H26)	35	1	1
2015(H27)	39	4	4
2016(H28)	35	3	2
2017(H29)	28	2	1
2018(H30)	21	0	0

注) 研究論集は、2010年度からHUSCAP(北海道大学学術成果コレクション)にて公開、英文ジャーナルについては全巻を公開

文学院トップページ > 研究紹介 > 実績 > 刊行雑誌

北海道大学学術成果コレクション

北海道大学トップページ > 附属図書館 > 資料を探す > HUSCAP

## 4. 院生図書費支援

大学院生は毎年、一定金額の範囲内で図書を購入することができます。院生図書として登録された図書は、学位論文執筆期間中は優先的に利用することができます。

## 5. 院生研究室

講座または研究室ごとに院生研究室が設置されています。ひとりが一台の机で勉強できるよう、十分な設備を整えています。文学院内で腰を落ち着けて読書、思考、執筆ができます。

## 6. 国際交流および留学支援

北大では、51カ国の国や地域において、198大学等と「大学間交流協定」を結び(2020年2月現在)、グローバル教育や研究を推進しています。その他に、文学院・文学部では独自に、22大学と「部局間交流協定」を締結し、そのうち12大学と「学生交流覚書」を取り交わし、独自の交換留学制度を設けています。大学院生や学部生の語学力の向上や、国際的な研究への支援を積極的に行っています。2011年度より、「留学生支援室」を開設し、2014年度からは「国際交流室」として機能を拡大し、留学生へのサポートを強化しています。

### 部局間交流協定校 21 大学・機関(2020.5 現在)

そのうち学生交流覚書を取り交わしている12大学：

マンチェスター大学(英国)、ロンドン大学(英国)、サセックス大学(英国)、パリ大学(フランス)、アリゾナ大学(米国)、ザグレブ大学(クロアチア)、デュースブルク・エッセン大学(ドイツ)、国立高雄大学(台湾)、国立雲林科技大学(台湾)、南京理工大学(中国)、香港大学(中国)、パドヴァ大学(イタリア)

## 大学間交流協定校のうち学生交流協定を締結しているのは、188 大学・機関(2020.2 現在)

文学院学生の主な交換留学先:

部局間交流協定校の英国のサセックス大学、フランスのパリ大学、ドイツのデュースブルク・エッセン大学、クロアチアのザグレブ大学の他、大学間交流協定校では、吉林大学、ベラデニア大学、サンクトペテルブルク国立大学、モスクワ国立大学、サハリン国立大学、イルクーツク国立大学、極東連邦大学、マサチューセッツ大学、アルバータ大学など多くの大学への交換留学実績あり

留学生の受入と派遣状況

年度	受入（各年度 5 月 1 日現在の在籍者数）				各年度の派遣者数
	学部生	大学院生	研究生*	交換留学生*	交換留学生*
2015 (H27)	1	136	18	90	14
2016 (H28)	1	133	21	92	21
2017 (H29)	0	125	37	81	11
2018 (H30)	1	159	29	91	18
2019 (R 1)	1	160	29	111	14

\* 文学研究科・文学部の合計

文学院トップページ > 留学・国際交流 > 国際交流・協定校紹介

## 7. 受入留学生向けの支援

北海道大学では、留学生に対する支援として、渡日直後の支援を行う「サポーター制度」があります。その他、文学院では、独自の支援制度として、学習・日本語を支援する「チューター制度」を設けており、さらに 2012 年 9 月より「日本語添削プログラム」を開始しました。詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。

文学院トップページ > 留学・国際交流 > 留学生支援

### チューター制度

チューター制度は、留学生の指導教員が選んだ学生およびチューターバンクに登録した学生が、チューターとして留学生に対して教育や研究について個別の指導や支援を行い、留学生の学習や研究効果の向上を図ることを目的としています。文学院・文学部では、2019 年度に支援をうけた留学生数は延べ 94 名、支援したチューターは 54 名にのぼりました。

### 日本語添削プログラム

このプログラムは、留学生が執筆する論文等において、日本語の表現性を高め、研究活動をより活性化することを目指しています。2012 年度には学位論文に関する添削をおこなっています。

支援件数

年度	修士課程	博士後期課程	計
2015 (H27)	17	74	91
2016 (H28)	18	40	58
2017 (H29)	26	49	75
2018 (H30)	14	92	106
2019 (R 1)	33	15	48

## 奨学金情報

本学で取り扱っている奨学金には、日本学生支援機構、民間奨学団体及び地方自治体による奨学金があります。奨学金には、返還義務のある「貸与」及び返還義務のない「給付」があります。詳細は下記のウェブサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ > 学生生活 > 各種手続き・証明書 > 奨学金

### 1. 日本学生支援機構 奨学金

#### 奨学生 申請者および採用者数

##### 修士課程

年度	申請者	採用者	採用者の内訳		
			第1種採用 (無利子)	第2種採用 (有利子)	併用採用
2015(H27)	20	20	14	4	2
2016(H28)	22	22	15	3	4
2017(H29)	15	15	15	0	0
2018(H30)	20	20	18	0	2
2019(R 1)	16	16	12	2	2

注) 予約採用・在学採用・追加採用・臨時採用(人数枠あり)を合算した人数、緊急・応急採用(人数枠なし)と辞退者は除く

##### 博士後期課程

年度	申請者	採用者	採用者の内訳		
			第1種採用 (無利子)	第2種採用 (有利子)	併用採用
2015(H27)	6	6	6	0	0
2016(H28)	7	7	7	7	0
2017(H29)	5	5	5	0	0
2018(H30)	2	2	2	0	0
2019(R 1)	7	7	6	1	0

注) 予約採用・在学採用・追加採用・臨時採用(人数枠あり)を合算した人数、緊急・応急採用(人数枠なし)と辞退者は除く

### 2. 民間奨学団体及び地方自治体等 奨学金

毎年数名が採用されています。詳しくは、下記のウェブサイトをご確認ください。

北海道大学トップページ > 学生生活 > 各種手続き・証明書 > 奨学金

# キャリア・就職支援

## 1. ティーチング・アシスタント(TA)制度/ティーチング・フェロー(TF)制度

学部および全学科目の教育補助として、優秀な大学院生(修士課程・博士後期課程)をTAとして採用しています。このTA制度は、大学院生に将来教員や研究者等になるためのトレーニングの機会を提供するとともに、手当を支給しています。また、2015年度より、博士後期課程の大学院生を対象にTF制度が導入されており、教員と分担しながら授業を担うことで、さらにティーチングの技能を高め経験を蓄積することを可能にしています。

- ・TA研修会 4月開催(全学教育科目のTAが対象)

### TA

年度	予算	採用件数*
2015(H27)	1,200万円	306(7)
2016(H28)	1,200万円	296(11)
2017(H29)	937万円	283(8)
2018(H30)	942万円	287(12)
2019(R1)	966万円	291(8)

\* 延べ人数、括弧内は他学部院生数

### TF

年度	予算	採用件数*
2015(H27)	188万円	9
2016(H28)	115万円	10
2017(H29)	121万円	9
2018(H30)	133万円	8
2019(R1)	79万円	6

\* 延べ人数

## 2. リサーチ・アシスタント(RA)制度

研究プロジェクト等を円滑に進める研究補助として、優秀な博士後期課程の院生をRAとして採用しています。このRA制度は、研究活動の効果的な進展や研究支援体制の充実を図るとともに、若手研究者の研究遂行能力を育成することを目的としています。また、若手研究者に手当を支給することにより、研究に専念できる環境を提供します。

年度	予算	採用件数
2015(H27)	729万円	19
2016(H28)	365万円	9
2017(H29)	324万円	8
2018(H30)	284万円	7
2019(R1)	284万円	7

### 3. 研究者へのキャリア支援

大学院生にとっても、独自の研究経費を確保することは大変に重要です。文学院では、学術振興会特別研究員への申請を支援するため、申請書の書き方セミナーを毎年開催しています。このセミナーでは申請書の書き方へのアドバイスにとどまらず、研究の進め方、研究者としての心がまえ、キャリアパスなど幅広い話題を提供します。この他に若手研究者支援セミナーとして、学術出版に関するセミナー、キャリアパスに関するセミナー、国際的な研究活動への挑戦に関するセミナーを開催し、さまざまな面から若手研究者の研究活動を支援しています。更に、人材育成本部と協力して実施するセミナーなどもあります。

- ・学振特別研究員 DC・PD 申請書の書き方セミナー 5月開催、書き方相談会 2月開催
- ・若手研究者支援セミナー 秋頃に開催
- ・Advanced COLA 人文・社会科学系大学院生のステップキャリア形成イベント 8月開催

### 4. 北海道大学キャリアセンター主催の企画やセミナー等

キャリアセンターは、学生とのコミュニケーションを大切にしながら就職活動をバックアップします。就職相談や就活指導、就職情報の配信ほか、公務員受験や教員採用試験も応援しています。

北海道大学トップページ > 学生生活 > キャリアセンター

※詳しい日程は Web 参照。

### 5. 北海道大学上級人材育成ステーション主催の企画やセミナー等

上級人材育成ステーションは、博士後期課程学生とポストドクター向けのキャリア形成支援組織です。専門知識を活かしたキャリアパスを創出するための人材育成プログラムを実施しています。

北海道大学トップページ > 研究・産学連携 > 人材育成本部

### 6. 文学院独自のキャリアガイダンス

#### 就職ガイダンス

- ・年 1 回実施 (11 月)

### 7. 学芸員資格取得ガイダンス

- ・年 2 回実施 (1 月および次年度4月)

※ 博物館実習履修向けのガイダンスも別途実施。

### 8. 大学院進学説明会

- ・北大会場 1 回(12 月)
- ・東京会場 1 回(11 月)
- ・大阪会場 1 回(11 月)

# 進路情報

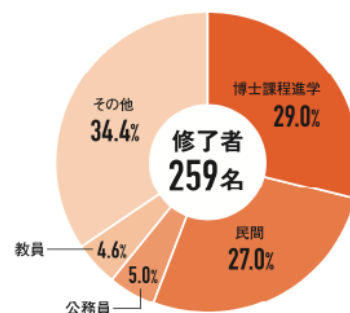
## 1. 修士課程修了者の進路

修了生は、約 29%が博士後期課程へ進学し、そのほとんどが文學院の博士後期課程で研究を続けています(過去3年間のデータより)。就職については、幅広い職種の民間企業に約3割、その他教員、公務員等の職業に就いています。

修士課程修了者の進路動向(過去3年間)

	修了者数	博士課程進学	就職	その他
平成29年度	85人	27人	29人	29人
平成30年度	72人	20人	28人	24人
令和元年度	102人	28人	38人	36人
過去3年間平均	—	29.0%	36.7%	34.4%

※その他の内訳:留学、帰国、文学研究院研究生など。



修士課程 過去3年間の進路

修士課程修了生の就職先(過去3年間)

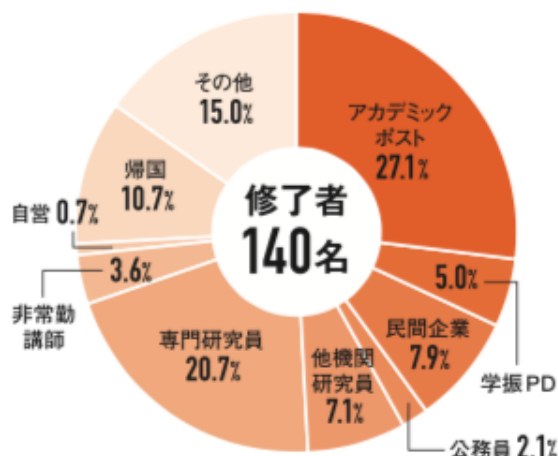
官公庁	学術研究、専門・技術サービス業	情報通信業	製造業
茨城県庁 会計検査院 札幌市役所 北海道庁 北海道労働局 文部科学省 南砺市役所	アートフロントギャラリー エスネットワークス クロス・マーケティング 士別市立博物館 総合地球環境学研究所 ブレインパッド ヘル・ケール研究所 北海道博物館	アイネット NTT DaTa MSE NTTドコモ 共同通信社 河北新報社 サイボウズ JBCCホールディングス 中国新聞社 データフォース トランスコスモス トライアルカンパニー 日光システムソリューションズ 日本電気 日本アイビーエム・ソリューション・サービス 日本放送協会 NetEase Interactive Entertainment 日立社会情報サービス 北海道新聞社 メンバーズ ユーザックシステム リンクレア	賀茂川啓明電機 日本たばこ産業 パナソニック ヨシムラ
教育・学習支援業	サービス業	電気・ガス・熱供給・水道業	卸売業・小売業
釧路市立北陽高等学校 行知学園 札幌第一高等学校 さっぽろ青少年女性活動協会 札幌北星学園 進学会 東京都立中学校・高校 ファミリー 北嶺中・高等学校 北海道共和高等学校 北海道内中・高等学校 北海高等学校 宮城県立高等学校	エイムネクスト 絵夢アニメーション オリエンタルランド 栗林商会 コンベンションリンケージ シンク ゼネラルサービス ZEBEE 総合商研 ファーストコネク マーキュリー MAPPA	アトックス 北海道エア・ウォーター	イオンリテール 双日 ニトリ ビックカメラ ヨドバシカメラ
		運輸業・郵便業	医療・福祉
		東日本高速道路 ヤマト運輸	インテリム 国立病院機構 ベネッセスタイルケア
			建設業
			立川工務店

## 2. 博士後期課程修了者の進路

博士後期課程修了者は、主に全国の大学、高校などの教員として就職しています。日本学術振興会の特別研究員 PD 制度や文学研究院の専門研究員制度を利用し、さらに研究成果を積み上げてから研究職に就く方もいます。最近ではアカデミアのみならず民間企業での研究職や管理職で活躍する方も増えてきています。

博士後期課程修了者の進路動向(過去5年間)

アカデミックポスト	38
学振PD	7
民間企業	11
公務員	3
他機関研究員	10
専門研究員	29
非常勤講師	5
自営	1
帰国	15
その他	21
合計(人)	140



博士後期課程 過去5年間の進路

※ 単位修得退学者の進路も含む

※ 学振特別研究員 PD や、専門研究員等を経て就職したケースも含む(修了後5年以内)。



博士後期課程修了者の就職先(過去5年間)

アカデミックポスト		民間企業
金沢大学人間社会学域 人文学類 講師	<b>海外大学</b>	駿台予備学校 (講師)
九州工業大学 教養教育院 講師	<b>&lt;中国&gt;</b>	北海道チャイナワーク (語学講師)
近畿大学 経済学部 経済学科 特任講師	華中師範大学 文学部 講師	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 (リサーチアシリエイト)
高知工科大学 経済・マネジメント学群 助教	江西財経大学 観光管理学部 専任講師	北海道地域農業研究所 (専任研究員)
札幌学院大学 経営学部 専任講師	河北経貿大学 外国語学院 専任講師	日本入試センター (総合職)
札幌国際大学観光学部 専任講師	西安建築科技大学	佐勇 (通訳)
札幌大学女子短期大学部 准教授	西安交通大学 外国語学部 講師	商船三井キャリアサポート (貿易事務)
大東文化大学 社会学部 専任講師	東北師範大学 外国語学院 講師	朝日新聞社 (記者)
日本大学 国際関係学部 助教	中国伝媒大学	センタン (研究員)
弘前大学 教育研究院 講師	南京理工大学 准教授	FJコンポジット
広島大学 ダイバーシティ研究センター 助教	南陽師範学院 専任講師	河合塾 (講師)
北星学園大学 文学部 専任講師	北京林業大学 専任講師	
北海学園大学 工学部 教授	マカオ大学 人文科学学院 助教授	<b>公務員</b>
北海道教育大学 釧路校	<b>&lt;台湾&gt;</b>	帯広百年記念館 (学芸員)
北海道大学 大学文書館 特任助教	国立台北商業大学 助理教授	本郷新記念札幌彫刻美術館 (学芸員)
北海道大学 文学研究院 准教授	<b>&lt;タイ&gt;</b>	北方民族博物館 (学芸員)
宮城学院女子大学学芸学部 准教授	ナレスワン大学 人文学部 講師	北海道立高校 (教諭)
武蔵野大学 文学部 助教	<b>&lt;トルコ&gt;</b>	
室蘭工業大学国際交流センター 特任助教	ボソック大学	
立命館大学 総合心理学部 助教	<b>&lt;北キプロス&gt;</b>	
	ファイナル・インターナショナル大学 講師	
	<b>&lt;バングラデシュ&gt;</b>	
	ジャハンギルナガル大学	

# 学位論文題目

---

令和元年度の学位論文題目は、以下のとおりです。過去の学位論文は、文学院ウェブサイトに掲載しています。

文学院トップページ » 文学院 » 過去の修士・博士論文題目

※令和元年度修了者は、文学研究科の4専攻に所属していました。

## 1. 修士論文

### 【思想文化学専攻】

- ロールズ「正義論」は障害者を包摂するか-拡大された社会的協働の射程についての一考察-
- 『カウシータキ・ウパニシャッド』における輪廻思想の研究
- デイヴィドソンの意味理論の変遷について
- 20世紀のフェミニスト宗教研究再考-男性中心主義批判の比較を中心に
- 後期西田哲学の宗教の論理について
- 既製品と芸術空間
- 『論理哲学論考』における操作と論理の関係について
- 〈ミュンスター彫刻プロジェクト〉研究
- 慧遠の浄土思想『般舟三昧経』との関連を中心に-
- 蔡國強の作品におけるエネルギーの顕在化

### 【歴史地域文化学専攻】

- 植民地期朝鮮における古美術品収集の実践に関する研究
- 日本におけるイスラエル・ディアスポラ-4人のライフストーリーをもとに-
- 第一次幕領期における蝦夷地警衛
- 知床の世界遺産登録のプロセスと先住民族〔特定課題研究〕
- 日本古代における衛士
- 地域社会における公立文化施設の”劇場像”成立について:松本市・まつもと市民芸術館を事例として
- 日本帝国の拡張と台湾旧慣調査
- 地域の博物館における郷土資料館の特徴-札幌市内の郷土資料館の事例から-
- 観光から見る「満洲国」とその社会
- 江戸時代におけるカラスの分類、生態および人との関わり
- 北海道総合開発の史的分析
- 異なる展示方法を通じた展示体験及び中国語に基づくコミュニケーション-北海道大学総合博物館展示体験を事例として
- 後ウマイヤ朝期アンダルス社会とキリスト教徒をめぐる法学議論
- 北海道の博物館におけるインターネット情報発信に関する研究
- ティムール朝末期における境界の再編
- 異なる展示方法を通じた展示体験及び中国語に基づくコミュニケーション-北海道大学総合博物館展示体験を事例として
- 清末禁煙運動の研究
- 17世紀中葉におけるスウェーデン王と帝国国制
- フランス革命期におけるふくろう党像の再検討-ウール=エ=ロワール県の事例から-
- ネパールの災害エスノグラフィ

【言語文学専攻】

- Judeo-Christian Perspective in Ernest Hemingway's Short Stories (アーネスト・ヘミングウェイの短編におけるユダヤ・キリスト教的視点)
- From Seeing to Touching : Tactile Imagery in Flannery O'Connor's Works (見ることから触れることへ-フラナリー・オコナー作品における触覚イメージ)
- ロシア文化における笑い-日本人アネクドットを用いた分析-
- エドガ・アラン・ポーの短篇小説の諸相〔特定課題研究〕
- A Dislocated Black Soldier: Vulnerable Heroism in Toni Morrison's Home. (放浪する黒人兵士-トニ・モリスンの「ホーム」における脆弱なヒロイズム。)
- 平安朝漢文伝の研究
- 『百人一首改観抄』の形成
- 『出雲風土記抄』の研究
- 近松門左衛門と馮夢龍
- 揚雄の賦における楚辭の要素
- 魏晋南北朝期の文学における〈自悼〉意識-〈悼祭〉を主題とする作品を中心に
- 李清照の詩詞に関する研究-神話を題材とした詞を中心に
- 清代における清雅詞派の受容の考察-姜夔を中心に
- 魏晋南北朝期の志怪小説における〈名前の霊力〉について
- 六朝期における陶淵明評価-「古今隱逸詩人の宗」をめぐって
- 園子温映画における時空間構造-『自転車吐息』を中心に
- 有島武郎のニーチェ受容
- アニエス・ヴァルダ映画論
- 悪夢の渦-大和屋竺作品論
- 村上春樹論-物語への省察-生きることの真実-
- 横光利一「旅愁」論-歴史化される現在-
- 少女マンガの進化形-大島弓子と魚喃キリコの作品を中心に
- 「満洲文学」における「異民族」の表象
- 宮沢賢治童話研究-語りと作品の変容
- 中国山西省武郷方言の音声・音韻に関する記述的研究
- 感情を表す語彙の意味的特徴-新語「エモイ」を中心に
- 北海道における「方言らしさ」の評価とその形成要因
- How VOICE is Construed in Japanese and English (日英語における「声」の概念の比較)
- A Corpus Study of Pragmatic Functions of Discourse Marker Like (談話標識 like における語用論的機能のコーパス研究)
- ロシア語と日本語における「視線」の概念メタファーの比較
- 神代辰巳論
- 五山禅僧における蘇軾詩の注釈について-『四河入海』を中心に

【人間システム科学専攻】

- 食材の配色における「美味しさ感」の文化的相違について
- Effects of partial colour on the cognition of facial expressions (表情認知におよぼす顔のパーツ色の効果)
- 砂糖及び慢性ストレスがラットの不安・うつ様行動に及ぼす影響
- 演奏における表現の芸術性の検討: 時間的次元に焦点を当てて
- 感情語の典型色とその認知的効果について
- 色のカテゴリカル知覚の個人差と左右半脳の側性化の関連-利き手指数の指標を用いて
- 妊娠中および授乳期のアルコール摂取による性差依存的なラットの不安行動
- Biased distance estimates using echolocation in sighted participants (晴眼者の反響定位による距離推定のバイアス)
- 照明光の色変化が顔の印象に及ぼす影響
- ヒトとウマにおける行動同期-歩行場面に着目した探索的検討
- ウマは同齢の同種他個体に視覚的選好を示すか-類似性の原則に着目した実験的検討-
- 集団を超えた全体への協力と集団間の話し合い及び共通運命の認識の相互影響過程-仮想世界ゲームにおける社会的表象
- 集団を越えた相互協力の達成に関する実験的検討
- 教育が技術の累積的進歩を促すメカニズム: 計算論モデルを用いた理論的検討
- リスク下における適応的な強化学習の進化: 進化シミュレーションによる理論的検討
- 称賛行動にはコミットメント・シグナルとしての機能はあるのか? ~称賛者への評価に着目した比較社会生態学的検討
- 融資ネットワークにおける社会関係資本役割の転換-上海周寧商会を事例に
- 中国帰国者の幸せと宗教生活-札幌国際キリスト教会における中国帰国者たちを例として-
- 双生児と非双生児の教育達成-行動遺伝学と社会学からのアプローチ
- 現代中国におけるビジネスが発展している仏教団体の変化-青島市における寺院を対象として
- 奄美大島西仲間集落の多面的な自然資源利用とそれを規定する社会関係-重層的な利用・管理・所有に着目して
- タイ難民キャンプからミャンマー(ビルマ)への難民帰還における現状報告と展望-いかに帰還し、暮らしはじめるのか-
- 財政からみた北海道奥尻町の防災に関する研究
- A Study on Livelihood System of Oil Palm Farming Households under the pressure of Land-Tenure Insecurity in Jambi Province, Sumatra, Indonesia
- 知床における人馴れクマの現状と課題-斜里町ウトロを事例として
- 中国珠江デルタの「基塘農業」の経営実態と多面的機能からみる今後の可能性-順徳区杏壇鎮青田村を事例地として-
- 津波被災地出身の若者の意識調査にみる「つながり」のあり方-宮城県石巻市北上町を事例として-
- カリマンタン島におけるセンザンコウ・ヤマアラシ保全に向けた課題: 先住民族による猟の意味づけと重要性に着目して
- 北海道道東地方におけるグリーンツーリズムの展開
- 大連市サクランボ栽培農業の発展に関する地理学的研究-大連市の個人農家を事例として-
- 日本の農村における小規模ワイナリーの展開-北海道余市町と長野県東御市を事例として-
- 産業発展による都市水汚染の影響と水整備のあり方-上海市蘇州河の水整備を事例として-
- 御蔵島の「ネコ問題」に関する住民の意識
- 特定外来生物アメリカミンク(Neovison vison)の管理における現状と課題について
- 施設園芸を商品とする企業的観光農園の発展に関する地理学的研究-四川省成都市を事例として-
- 北海道道央地域におけるテン類の変遷
- 公立中学校校部活動の発展過程に関する社会学的研究 [特定課題研究]
- 非正規男性の経歴とジェンダー意識 [特定課題研究]
- 中国現代農村における「埋葬」意識に関する研究 [特定課題研究]
- 大卒労働市場におけるカレッジ・インパクトの変容-チャーター理論再考-

## 2. 博士論文

博士論文題目は、文学院ウェブサイトだけでなく、北大附属図書館で提供している「学位論文目録データベース」でも検索することが可能です。平成 25 年 4 月以降授与分については、HUSCAP(北海道大学学術成果コレクション)で博士論文全文が公表されています。

### 【思想文化学専攻】

- ヨシヤの改革:「エサルハドン王位継承誓約文書」と「申命記」
- ベルクソン『物質と記憶』の純粋知覚説における問題解決型の思考実験とその構成の方法としての仮象論によるメタ理論の構築

### 【歴史地域文化学専攻】

- 参謀本部の情報活動と日本外交ーバルカン戦争を中心に
- エゾオオカミをめぐる歴史と文化:日本における研究史およびオオカミ観形成過程の検討
- 植民地期朝鮮における「迷信」の問題の研究

### 【言語文学専攻】

- 「も」の文法的特性と語用的機能に関する研究
- The Eternal Pursuit of Arbitrary God: Melville's Method of Provoking Immortality
- 横井小楠の經世思想研究
- 中世の知と文芸
- 川端康成文学における絵画
- 中国映画における分身の表象に関する史的研究
- 日本語の会話におけるフェイスバランス調整行動に関する語用論的研究ー自己卑下発話を中心にー
- 伊井直行論
- NEGATIVE IDEALISM OF PERCY BYSSHE SHELLEY: HIS SELF-REVISIONISM TOWARD “THE TRIUMPH OF LIFE”
- 有島武郎文学の研究ー女性を書くことー

### 【人間システム科学専攻】

- The Political Ecology of Salt: Dynamics of Agrarian Change in Rural Kupang, Indonesia
- Visual Search and Concealment Strategies in the Spatiotemporal and the Temporal Domains across Social Contexts
- 地域子育て支援の施策と課題ー子育ての私事化／社会化をめぐるー
- バイリンガルの言語使用におけるメカニズムの解明ー意味処理に関する検討ー
- Effects of Prenatal and Postnatal Ethanol Exposure on the Development of Ultrasonic Communication and Sociality in Rats

北海道大学トップページ > 附属図書館 > 資料を探す > 学位論文データベース  
 北海道大学トップページ > 附属図書館 > 資料を探す > HUSCUP

北海道大学 大学院文学院

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

<https://www.let.hokudai.ac.jp/>

---